

ふりかえり評価 プロセスシート

団体名	NPO法人長野サマライズ・センター
設立年	2001年
所在地 <small>*市区町村までで結構です</small>	長野県塩尻市
活動地域	全国
スタッフ数	有給常勤職員 : 1名 有給非常勤職員 : 24名 役員 : 4名 ボランティア : 1名
事業概要 <small>*簡単で結構です</small>	聴覚障害、発達障害をお持ちで、文字による情報支援が必要な方にサービスを提供する、パソコン文字通訳：パソコン要約筆記サービスを行っています。現場だけでなく日本全国どこへでも、離れた場所からスマートフォンやモバイル端末などを活用した遠隔支援システムを取り入れた活動を行っています。



ふりかえり評価 プロセスシート

テーマ <u>*ふりかえりの対象となる期間や範囲であり、目的ではありません</u>	長野サマライズ・センターの事業や組織について
枠組み	KPT / 田の字法 / 年表
実施日時	2022年3月7日(月) 13:00～15:00
実施場所	オンライン
担当者 (役職)	小笠原 恵美子 (事務局長)
進行役 (所属など)	小池 達也 (よだか総研)
参加者数・ 属性など <u>※具体的に記入してください</u>	理事、通訳スタッフ 創設メンバーから入会1年目まで、 経験年数は幅がある。
事前に準備 した資料など	なし

チェックイン

- ・「ふりかえり評価」って？

市民団体やNPOが、自分たちの組織や活動を、一人ひとりの多様な視点からふりかえり、想いや経験を共有し、組織の中にある価値の軸を発見するための評価手法です。「評価」という言葉からイメージされがちな、成果のアピールや数値化、他者からの押し付けは、一切やりません。多様な価値観を、1つにまとめません。

九州・東北のNPO支援者と共同開発中の手法です。詳しくは、[WEBサイト](#)をご覧ください。

本日は、トライアルにご協力いただき、ありがとうございます。

- ・よりよい場づくりのための、みなさん一人ひとりへのお願い

- ① あなたの経験やエピソードをお話してください。個人的なことで構いません。
- ② 感情が揺さぶられたこと、動いたことのお話も大歓迎です。
- ③ 他の人の話は、「聞くだけ」にしてください。

ワーク

進行役から、1つずつ、みなさんに聞いていきます。

1. お名前、普段やっていること、春になったらする予定のこと
2. これまで活動してきた中で、とても嬉しかったこと、良かったと思ったこと (ポジティブ)
3. これまで活動してきた中で、モヤッとしたこと、気になっていること (ネガティブ)
4. 活動する中で、私はこれを大事にしている (のかもしれない)、ということ

ふりかえり評価 プロセスシート

任意チェックリスト

○

参加性

役員や職員だけでなく、会員・受益者・支援者など多様な属性が参加した。

○

参加したいと感じている人が参加できるよう、ステークホルダーに広く呼びかけた。

必須チェックリスト

○

水平性

立場や役職と意見の重要度を切り離すフラットな場づくりのため、第三者的な進行役を配置した。

○

多様性

ホワイトボードや付箋などを活用して、ステークホルダーの多様な意見や価値判断を、可視化して共有し、違いを顕在化させた。

○

包摂性

事後アンケートを提出した人のうち「自分の声が全く受け止められなかった」と答える人がいなかった。

○

公開性

組織の透明性や説明責任の向上のため、本レポートをWeb上で公開した。

○

参加者コメント

*事後アンケートから転記してください

● 気付き・感想・学び

- ・このような場に参加したのは初めてでした。参加している活動は同じでも、気持ちや動機は様々だということに改めて感じました。
- ・自分とは違う活動をされている方々のお話が聞けて、有意義な時間になりました。ありがとうございました。
- ・改めて口にする事がなかったこと、考えも及ばなかったことなど、自分の中にある思いを引き出す機会になった。また、それを聞くことができとても新鮮だった。
- ・普段、直接聞けない（聞くことが難しかったり、機会がない等）話を聞くことができ、一体感？親近感？が持てるなど、たいへん意義があった。活動されている中で、個々が何をどう考えているのかは、非常に重要で大切な情報だと思うが、なかなか共有する機会がなかったので、メンバーを替えての再度の開催なども希望する。具体的な事業などの方向性の決定には、直接つながらない面もあるが、こういった取り組みを重ねることが、最終的にはつながっていくような期待を持った。
- ・今まで知らなかったサマライズの歴史を少し知ることができました。経験が少なく自分の参加した現場しか知らなかったのも、実際の利用者の方や親御さんのお話が聞けて勉強になりました。
- ・NPOは、多様な価値観や立場の人が集まる場所だなあと改めて感じました。大事にしていることや性格も本当にそれぞれだなと。お互いを尊重したり大事にしていきたいと思いました。

● これからしたいこと

- ・個人的なことになりますが、演劇に字幕を付ける活動は続けていきたいと思いました。
- ・実践現場から退いて数年、自分には出来ることはないと思ってきたが、何かまだできる事がまだあるかも知れないと思わせていただいた。具体的に考えてみたい。
- ・参加メンバーの人となりも見えて、できたら、メンバーを替えて、全員が複数回、参加してのふりかえり評価ができたらと考える。
- ・今はあと2年間、利用者の学生さんの大学卒業まで、今の現場がよりよい通訳になるように努力します。
- ・テーマや事業を絞ったり、メンバーを変えてワークを行なってみるなど。